（十日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵稅十錢
廣告料　二行五十錢指定廿錢增
發行兼編輯印刷人　逵沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

痔の最高內服藥　ダイサン錠
鼻のクスリ　チクノール錠
平町五丁目角　山野邊藥局

論壇

滿州駐屯軍の使命如何

試みに問はん、我國軍が滿洲に駐頓し居れるその眞使命は果して那處に在る乎、茲に突如として此言を爲さねば的確に能く即答し得る者は恐らく極めて少數であらう。考へる事程左樣に在滿洲駐屯軍は一般世人より閑却視されて居る

◇

日露戰役後今日に至る迄實に廿有三年、日本は常備師團の大兵を滿州に駐めて來た、その司令部は遼陽に在り二ケ年毎に內地より交替せしむるの制度だ之に要する經費は審らかに知るを得ないが、異域派遣の煩雜なる事情に顧みる時は無論內地師團の倍額以上に上るべく、今日迄には無慮二億圓程度の巨額に達して居ると思ふ。之は一體何の爲めであつた乎。

◇

若し某々一派の說の如く滿蒙が單純なる支那の領土であるとせば、日本の駐兵は全く餘計なお節介に過ない。或は又滿鐵保護の目的なりと云はゞ既に夫が爲めには當時六箇大隊の守備兵が在る（現在四箇大隊、今又復舊說あり）夫にて充分の筈だ。遼陽及鐵嶺に駐屯する堂々たる我皇軍の大使命は決してそんな曖昧なものではない。日露戰役の根本精神を繼續せる我軍大國策の表現であると解釋せねばならぬ

◇

日露戰役は何故に起つた乎。東洋の平和を攪亂する露國を膺懲せんが爲めであつた。滿蒙に於ける第三國の侵入は我帝國の存立を脅かし東洋動亂の禍因を爲す既往に於て然り今後に於ても亦然りだ是れ我日本の斷じて忍び能はざる所である滿洲駐屯軍の眞意義は即ちこの東洋平和の確保に外ならぬ

◇

然るに該駐屯軍の爲めに最も多く利益を蒙つたものは支那人だ、支那人は過去二十年間に無慮二千萬人が增加した。滿蒙が實際支那の領土らしく見え出したのは全く我が駐屯軍の治安維持のお蔭である。處が年々多大の犧牲を拂へる日本としては殆ど何等得る處がなかつた。此事實を一體何と見る？

◇

昨今支那の國民政府が日本の諒解を求めずして滿蒙を我物顏にその統制下に置かんとするは僭越至極の振舞である。然も亦我政府が之れに對して殆ど一片の意志表示をすら爲さず、袖手傍觀するに至つたは全く沙汰の限りと謂はねばならぬ若し外務當局にして今日の如く何等施す所なくんば遂には庸臣國を誤るの罪を後世千載の史上に貽すに至るであらう。

文藝

自動車ローマンス（一）

北島聰一

人はまだ起きさらぬ、初夏の朝遠くの方から豆腐屋のかねの音がきこえる、間もなく雨戸を繰る音がする、荷車が通る、荷馬車が通る街は次第に賑やかさを增して來る、やがて夕方になると一日の雜踏も又豆腐屋のかねにそれは暮れて行く、これが七八年前の我が平町の朝夕の情景であつた。

爽やかな初夏の早朝、微かな爆音の響がすると忽ちそれが大きくなつて、人の鼓耳を驚かすそれは鮮魚を滿載して魚市場に到着した自動車である、間もなく二臺目が到着する、四倉行の一番自動車が出る、片寄行が出る、貨物自動車が通つてサイレンの響と爆音が交錯して町は明けて行く、試みに本町通りに終日立つて見よ、これ等自動車の間斷なきサイレンと爆音の交錯をこれぞ近代文明を表徴すべき交響樂とも言ふべく、七八年前豆腐やのかねの音明け豆腐やのかねに暮れ如何にものんびりした平町もエンヂンの響に明けエンヂンの響に暮れ樣とは變れば變る世の中である。

× × ×

猫の額の樣に小さなこの町にも旅客貨物は言ふに及ばす、撒水に自動車、塵介運搬に自動車、消防に自動車、道路修繕にさいフォードソントラクターを使用する等自動車萬能時代を現出しつゝある。

平町を中心に四方八方に張られた自動車網は任意のあらゆる交通機關を壓倒し更に鐵道の領域迄喰込んでゐる、これはひとり當地方の現象ばかりでなく全國的否全世界的の現象である。近距離輸送の場合手續の繁雜な鐵道よりも經濟的で速度の早い、道路さいあれば何處へも這入つて行く便利重寶な自動車が高速度を以て殖えつゝあるのも蓋し偶然ではないのである、最近の私設鐵道や國有鐵道の新聞紙によつて報ぜらるゝ營業狀態を一見しても判る通りその減收は何を意味してゐるであらうか、それは言ふ迄もなく自動車の急激な發達・壓倒されてゐるからで殊に私設鐵道の一番苦手はこの自動車であるさうな、

平、小名濱間を連絡する所謂中小鐵道の樣な近距離鐵道は寧ろ今日ではその工事を變更して京濱國道の如き完全なコンクリート道路を新設した方が建設費の點に於ても必ず得策ではあるまいか、百哩二百哩の長距離を連絡する交通機關は目下の現狀では鐵道に一歩讓るとして平小名濱間の樣な十哩內外の近距離は自動車道路の方が理想的である。自動車の發達は恐らく停止する處を知らない現狀であるからこの儘推移したならば百人乘位の自動車の出現も遠き將來ではないから輸送力の點は何等の懸念を要さないであらう。

※明日の吉凶※

舊曆五月二四日　新曆七月十一日

▲一白　出づる[illegible]多[illegible]從つて迷ひを生じ易し注意▲二黑　急激の打擊を受ることある最大注意日たり▲三碧　逆行が前進かの岐れ路に立つ日初志をまぐるな▲四綠　吉辰なれども勢ひに任せ長驅すれば脫線す▲五黃　良き位置に居ても何となく落付きの爲き日▲六白　表面は穩かの樣に見へても油斷の出來ぬ日▲七赤　誇なひに乘らず堅實に進むときは吉日となる▲八白　眞面目に襲ふ敵はなし辛抱してたゆむなかれ▲九紫　目上の信賴あり十分手腕を發揮せらるゝ日

講談

闇に閃く男達

136

高田涙川作　尾崎雪麿畵

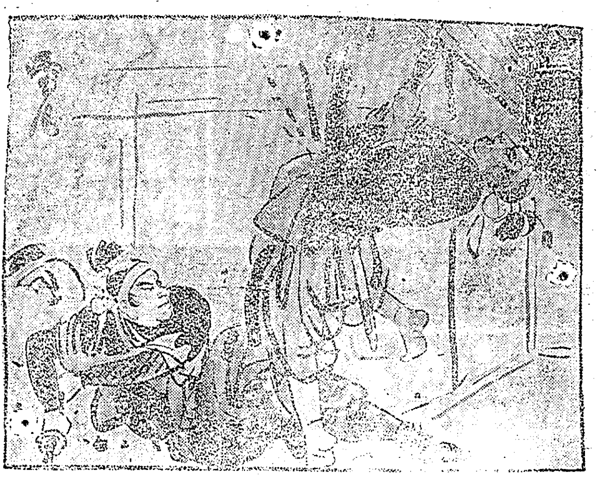
山鹿流の太鼓

「ヤアー／＼方々、この敵拙者が引受けた、小林平八郎と云へる者の体は鐵作りか鬼神か赤穗浪人武林唯七これにあり、彼も一人我も一人にて相手いたす人々引け／＼引け！」

強者の武林が來た彼に任せろと一同は引く、小林は武林ときいて先年の怨み晴すはこの時なりと大よろこんだ

「赤穗のやせ浪人、まして武林ときけば前年の怨み思ひ知れよ」

平八郎のきつ先は一層にするどい、唯七の方では前年試合のことは忘れてゐた今前年の怨みと云はれフト思ひ出した、サテはナカ／＼の大敵にあつた、うか／＼としてゐられん片岡との試合で腕は知つてゐる自分一人では持て餘すしろものだ、しかし高言の手前もあり今更加勢を求めることもならん、身を捨てゝこそ浮ぶ瀬もありと捨て身でかゝつたが平八郎が振りかぶつてジリ／＼前へ進む、唯七は切り込むことが出來ない次第／＼に後へ退り火鉢につまづいてドツカと尻餅を突いた平八郎は眞二つと振りかぶつた長劍、エイツ一喝して切り込んだ、ところが平八郎は出來ても心得はなかつた長劍を振りかぶり打ち落ろすとたん鴨居へ切り込んだ力が足りなければ切り込みも淺いから直ぐとれもするが腕前の優れた平八郎が一刀兩斷と云ふ勢ひで振り下したもの故、鴨居へ切り込んだ刀が急にとれない、その隙を見て唯七倒れながら横に拂つたので流石の平八郎も物の美事に胴切りになつてしまつた禍却つて幸となる戰爭で頭を下げ靴をはき直してゐた爲めに敵彈を免れたと云ふ人もある、これは所謂その時の間で當人の運不運と云ふものであらうか



それはさも角金五郎は小山田宮內老人をその宅に送り届けてからそれを緣にしけ／＼出入りをして何かと世話をする、それは大石の動靜がもしや解りやせぬかと云ふ一擧と淺野家への報恩の一つにもならふかと喜內を親切にするのであつた、娘おつるにその聟の彌助は金五郎の俠氣に感謝の意を表してゐた、所が元祿十五年十二月十四日の夜のこと金五郎方では鬼面の政吉、お多福新吉らに重立つたもの四五人集り相談ごとに夜を更かしてゐた、はや眞夜中近い頃時ならぬ勇ましい太鼓の音が遠くに聞こゆる、金五郎はフト氣が付いた、從兄石川正春より軍學を敎導されし時山鹿流の太鼓の打ち方を聞いてゐたさてはと合點が行つた

「新吉手前これから松坂町の吉良の邸の附近を調べてみてきねね變つたことがあるなら直ぐ知らしてくんねね」

「親分全体どうしたんです」

「エーッ、どうもこうもねね早く行つて來ねね」

いつになく金五郎がせき込んでゐるから何か大變があるに相違ないと新吉はそのまゝ表へとび出したがしばらくすると宙をとぶ如く歸つて來た

「サア親分大變だ、何だか知らねえが火事裝束の人數三四十人が今吉良の邸をとりまいてゐるようだ」

「さうかヨシッ、サア手前ちも用意をしろ、實は先刻俺が伊勢參宮と云つて出かけたはこれ／＼かようの譯その火事裝束と云ふは赤穗、浪人にちがひない、大石樣に御恩を報する時が來たのだ吉良には上杉と云ふ後見があるんだ、仇討ちのじやまをする奴が出て來れば片つ端から叩き斬るんだ皆しつかり働いてくれ！」

「それぢや去年の松の廊下の一件か、そいつは豪氣だサア行かう！」

廣告

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

平町舊城跡
青沼醫院
電話四〇三番

平町田町
高久病院
電話五一三番

平町田町通り
磐城病院
電話一一四番

世界的巨編
突如
幌馬車
十二日より公開

大建國史◇パラマウント超大作映畫　ジヤツク・ウオーレン・ケリガン主演…幌馬車隊
砂漠橫斷・亞米利加印度の爭鬪・人類生存の一大悲詩・建國精神永遠の記錄◇

◆日活時代趣大作映畫
主演　松本泰輔　久米譲　梅村蓉子　潮川銀潮
若き日の繁藏
俠客と云ふ集團ノ名中に脅喝、强請を常とする者多き時代、此時超然として眞俠名を賣る男笹川の繁藏は狂暴無賴の主魁閣鮫の寅吉を誅して後事義弟仁三郎に託し國越えしてからの出來事でした時文政二年春尙淺きころ……

◆日活現代超特作映畫
島耕二、瀧花久子主演
伊東みはる……
夫婦全集
睦まじい家庭である、夫を三吉と云ふ善良で仕事に眞面目な會社員妻を美那子と呼び美しい優しい奥樣、結婚して間もない彼等に夢の樣な日が續けられてゐた…が併し…運命の神樣も餘りにも麗々たるその生活を妬いてか一つの餘分な苦勞を授けた……？

料金　普通　土日曜學生デー
平館　電四六六

開店御披露
氣分好い食堂ができました、暑い夏の夜御散策旁々是非一度御來店の上御批評を經營は大塚肉店故原料豐富。是非一度御試食の程を
女給數名入用。
カフエー幸樂
平町六丁目電五（三九番）

御料理
平、新田町
喜柳
電話[illegible]

◎御挨拶
御錦地四方の御客樣益々御機嫌麗はしく大慶此事に奉存候、さて私儀御贔負樣の厚き御招に預り私御目見得致す事と相成候、元より未熟なる者には候得共唯々血を吐くまでも當座の大奮闘と且つ熱心とに御同情被下何卒御後援を賜り度御挨拶旁し只管御願申上候

木村友衞
七月十二十三日二日間限
雨天に拘はらず日延なし
平劇場
電話五五五番

ツルヤ洋品店の
夏の子供服陳列會

イタヅラ着	三十錢より
ボイル服	一圓四十錢より
富士絹服	二圓より

御自由御覽になられる樣店內に陳列致しました。
特に御勉め品霜降通學服
大特價提供!!

一號	一圓拾錢
二號	一圓
三號	九拾錢

平町四丁目
ツルヤ

外科新設
外科專門　部長　藤本順
診療開始
產科　婦人科　院長　木村寅次郎
從前通り診療
平町新川町
木村醫院
電話一六四番

拜啓初夏の候益々御健勝崇賀の至りに奉存候扨て長男秀夫去る五月十三日死亡の際は一方ならざる御心配を辱ふし難有感謝仕候其當時荊妻重病の爲め埋葬相營み兼ね遺骨を火葬に付し今日迄經過致候處荊妻も稍々常体に復したれば來る十七日郷里會津若松に於て埋葬の心組に有之久しき間斯る事情より公私共凡て遠慮致し居候何れ近日御相眉の上御託び可仕候得共以紙上御報申上候　敬具

昭和三年七月十日

平町三丁目
山田忠太郎

平町紺屋町
吉田眼科醫院

野馬追團体募集
七月十二日午前六時出發
定員　七十八
會費（晝食附）　四圓
往復共自動車
尼子亭自動車部
電話六四〇番

第三校新築に人夫の寄附申出
總數千三十名を
立町派の各區が

平町に於ける第三小學校敷地問題は永らく紛糾に紛糾を重ねた處町會議員吉田五平氏の八ヶ條に亘る仲裁案とも言ふ可き平町學校網の建議案により遂に滿場一致これ決定したので立町側も南町側もそれ〴〵目的を達すると共に提案者吉田五平氏に感謝してゐるが南町側より一歩先に目的を達した立町側にては早くも第三小學校新築工事に對し五丁目第九區長馬目房次郎氏は人夫百八、大工町第二十二區長永島庄次郎氏は同三十人、新川町第十區長代表風呂福榮氏は同百八人、堤ノ内第二十區長代理者小松初太郎氏は同三人、立町第十九區長佐藤榮吉氏は同三百八人、鎌田町第十八區長高田清一郎氏は百五十八等の人夫を各々區會總會結果區代表者として寄附すべく伏見町長迄に提出した有様でこの人夫寄附は敷地が正式知事より認可あり次第町會に提案しその採納を決定する由である

小名濱の
五十鈴艦
當日の縣定行動

來る十四日午前七時軍艦五十鈴が小名濱港に入港する旨既報の通りであるが豫定は左の如し

入港（七月十四日午前七時）一般觀覽（同日午前九時頃築港より至午後四時）歡迎會（同日午後七時於海岸バラック）海軍々樂隊演奏並活動寫眞（同日午後七時海岸バラック）艦上簡閲點呼（七月十五日午前九時施行午後一時終了）一般觀覽（同日の午後一時半至午後四時築港）

地方競馬の設置を
平町から願出る
會津競馬の紛糾が長延けば
豫斷出來ぬ縣の許可方針

最近における競馬熱の勃興に著しく、地方競馬の設置を希望するもの尠くないが本縣は過般の地方競馬規則改正によりその個所馬を三ヶ所と限定され既設郡山、原町の外に目下行き惱みつゝ未設置準備中の會津競馬を合し定數に達するが會津競馬は既報の如く分資受持ち口數に關し關係者間に於て纏まらず成立は今秋と見られてゐるので、このゴタ〳〵を見て取つた石城郡平町有志十三名は同町字鎌田町地内に二十ヶ年の期限で計劃中のところ九日連署で加勢知事宛設置許可方を願出たが、縣の方針は地形上會津方部一箇所に許可する既定方針である以上石城方部への許可は至難と見られてゐるが然し會津競馬が今後紛糾を續け容易に成立しないに於ては縣の方針も如何樣に變らうかも知れず注目されてゐる

南裏第四校の敷地を
運動場に解放か
昭和五年の着工期迄
町當局留意

平町南町に第四小學校の土地として五千四百坪の土地を買收する事になつたが第四小學校は昭和五年度から工事に着手するので滿二ヶ年間土地を買收した儘放任して置くことになるので町民の間にはこの買收地を一般に開放して町民の運動場として自由に使用せしむべきであると叫ぶ者も多く町當局でもこの點に留意してゐる樣であるが、平町には理想的解放運動場がなく從來は不便を忍んで磐中その場の校庭を使用してゐたので最近の如くスポーツが一般的に行はれる樣になつて來た際としてすべての競技が自由に行はれ運動場を南町裏に設立したといふ希望者が極めて多く理想的運動場設立の猛運動を起こす計畫も内々進められてゐる由である

平町物價
前月とは大差ない

平町に於ける今月初旬の日用品物價は次の如くで各れも前月に比し大差ない

△白米一升一等三十四錢二等三十三錢、三等三十二錢△白麥二十錢△中麥十錢△味噌一貫匁八十錢△醬油一升六十錢△清酒一升並一圓△木炭一貫匁楢丸三十二錢、楢割二十五錢、雜二十七錢△砂糖百匁白十五錢、和白十三錢△肉類百匁豚上五十錢普二十錢、牛上六十錢普四十錢　以上

◆噴火口◆
農郎スポーツ

今農村は忙しい盛りだ、少し位雨には雨降り正月などゝ云ふてゐられない時期だ、仕事は一種の勞働かも知れぬ。

◇

然しこれを運動と見たらどう此位よい運動は他にあまり多くはないだらう、體育奬勵といふ見地から見て恥かしからぬスポーツだ、須らく農業といふ運動に勵むべしだ

◇

然し鍬を取りて田園で樂しい涼風がヴアイオリンを持つ痩腕所有者の悅ふべきそれとなるだらう、田園の上に溢がつてゐる汗の香はオールバックの油となるだらうか

◇

要するに農村の運動は間斷なく働くことにある「雨降正月」「骨休み」なども尙は働くことが意識される尤も適當の時に休息を必要とするのは今更言をまつまでもないが、その休息たるや根本を遠ひた休息即ち遊ぶための休息ではこまる

◇

香水の臭みあるものが汗の香を樂しむ眞の農村青年の先に立つて「農村の覺醒」「農村の振興」を叫ばれてはかなはぬ、いやはや笑はざるを得ない

◇

「君、こんなよい天氣に働くのかい、けふはお天氣正月だよ」などゝオールバックの香水臭いに言はれて一寸恥しかるやうでは神聖な勞働、イヤ最適の運動が泣き出す、農村のスポーツマンよしつかりせよ

（農村スポーツマン）

活動小屋の換氣裝置

息苦しくなつたり、頭が痛くなつたり、あまりの暑さに折角のいゝ映畫も更に感興をそゝらない、料金を安くさへすれば觀客がどん〳〵入ると思ふのは時代の流れを知らない興行振である

◇

わづかの都合から煽風器をつけなかつたりするのは衞生上誠によろしくない。大体活動小屋は時代に添ふやうな設備はしてない

◇

それを默つて見てゐる觀客も觀客だ、これなどは當局でも嚴重に取締すべての弊害を除く意味から營業停止とやらでも喰はせたらどんなもんであらう。

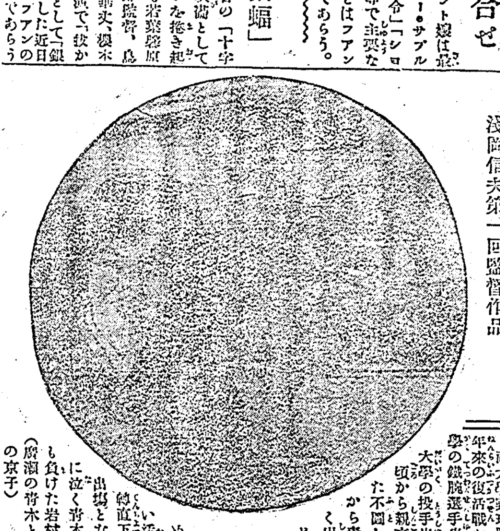
（でもファン）

十三年振りの顏合せ
マンジウとブレント孃

今から十三年前アドルフ・マンジュウは紐育のワールド映畫會社の古ぼけた撮影所でオルガ・ペトロワ孃主演の「白い羽根」に端役を演じて一週七十五弗の週給三十弗の下つ端女優としてイヴリン・ブレント孃も未來のスターを夢みて居た、今この映畫界の名優二人は共演して新らしい映畫を作りつゝあるが二人の地位や給料はうんと上つて一九一五年當時と隔世の感がある　マンジユウ氏は「ヒズ・タイガー・レーディ」で主役を演りイヴリン・ブレント孃が相手女役を勤めて居る、ブレント孃は最近「暗黒街」「ボー・サブル」「最後の命令」「シロウ・ダウン」等で主要な役を演じたことはファンの記憶に新たであらう。

日活映画
「銀の蝙蝠」

衣笠貞之助監督の「十字路」は新時代映畫としてセンセーションを捲き起したが日活でも若葉馨原作、清瀬英次郎監督、鳥羽陽之介、尾上紋丈、櫻木梅子、若葉馨共演で「彼かさる纖戯映畫」として「銀の蝙蝠」を完成した近日封切されるからファンの問題となることであらう



日活映畫「大學選手」淺岡信夫第一回監督作品

廣瀬恒美主演にてB・D兩大學野球戰が二十年來の復活戰からB大學の鐵腕選手青木とD大學の投手岩村は日頃から親交深かつた不圖した事件から青木は潔く出場をやめたが岩村の友情と岩村の妹京子のめざましい活躍は急轉直下青木の出場となり榮冠に泣く青木美しくも負けた岩村…（廣瀬の青木と澤蘭子の京子）

郡内礦區の
試掘認可
入山、三井其他

石城郡内に於ける石炭礦區中此程主務省より試掘を許可されたものは左の如くである

磐崎村、渡邊村石炭九萬九千四十五坪三井鑛山株式會社△植田町、泉村石炭九十四萬坪同會社△上遠野村、渡邊村九十八萬二千五百坪同會社△四倉町、久之濱町石炭七十四萬五千坪同會社△高久村豐間村、鹿島村、石炭九十九萬八千六百坪同會社△田人村、上遠野村石炭四十八萬八千六百四十坪東京市淺草區小島町武田茂三郎△湯本町磐崎村石炭五十二萬八萬三百坪入山採炭株式會社

野菜泥
捕はる
昨日平署に

平町字南町居住麻製造業田村郡大越生れ佐久間熊吉（三三）は昨九日午前四時頃平町三丁目野菜屋大泉屋方の店頭に忍入り長芋、ニンニク其の他野菜を窃取逃走したのを平署の刑事が發見逮捕したが餘罪ある見込で取調中である

梅雨も上つて
訪れた酷熱の夏
氣溫は昨年と大差ない
小名濱測候所發表

ジメ〳〵として欝陶しい梅雨が何時のまにか上つてソロ〳〵昨日あたりから眞夏らしい陽氣になつて來た、小名濱測候所の發表に依れば昨日未明から高氣壓が八丈島附近に移動した結果愈々酷熱の眞夏が訪れ來た本日正午の溫度は七十三度二分明日は南西の風晴れ後曇り、氣溫は昨年に比して大差なく梅雨が上りも頗る順調である

酷暑の襲來

それはいとはしいやうでもあり懷しいものでもある炎熱の燒付くやうな陽光を一杯に浴びて海水に浸る壯快な氣分愈々避暑の期節が訪れたのだ暑さを書入にある氷水屋さんが平町だけで百八十五人平署管内だけで六百を越してゐる昨年よりは百七八十の增加

風鈴を吊るした屋臺店を曳いてアイスクリームの透る樣な呼聲が市内の隅々まで響いてゐる、夏が來れば……と眞夏を待ち焦れてゐた新田町や鎌田の花街では南町の暗黒街も涼を追ふ地廻連や若衆の姿に賑ひだした小名濱や四倉海水浴場ではもうすつかり迎客準備が齊まして涼を求めて集ふ人群を待ちあぐんでゐる小名濱海岸の脫衣場は十四日から一齊に店開きをすると言ふ夏だ、眞夏だ！本眞に夏が訪れたのだ

平信用組合
優良表彰
縣下産業大會で
創業後六年

平町信用組合は創業以來六ヶ年營々として組合事業は逐年優秀な成績を收めてゐるが昨九日原町に於いて開會されたる縣下産業組合大會に於いて縣下唯一の優良組合として表彰さる

逮捕された怪盜
駐在所から逃走
炭礦方面に潜伏と睨み
平署大活動

今春三月頃から郡下各地に頻々として衣類專門の盜賊が出沒し其の被害高の如き千圓以上に達してゐるので平署青田部長以下各刑事にて八方犯人の所方を嚴探中であつたが神出鬼沒巧みに刑事連の鋭鋒を避けて容易に逮捕を見るに至らなかつたが去る六日磐崎村大字藤原地内を徘徊してゐる擧動不審の男を折柄警邏中の同村駐在巡査が發見逮捕の上駐在所に引致取調た結果此奴は當時住所不定無職佐藤一（三六）と自稱し前記郡下各地を荒し廻つてゐた旨自白したが駐在巡査の隙を見るや駐在所のドアーを破つて飛鳥の如く戶外に飛出し行方を晦ました急報に依つて平署から青田部長以下出動同村小野田坑を初め各炭礦に潜伏してゐるものと目星を付け直ちに一大活動を開始したが逮捕された時所持してゐた贓品のみでも高貴織其の他衣類十數點あり今まで此奴の荒した件數は驚くべき數字に達するだらうと言はれてゐる

鰹群は多いが
依然餌付が不良
目下の漁場は距岸二百浬
磐城丸探漁報告

縣水産試驗場の磐城丸は鹽屋崎正東百浬横斷海洋觀測のため五日午前六時出帆四十浬の海區觀測中測深器破損のため漁場調査に向ふ距岸六十浬内外に鮪、混合鰹群甚だ多きも餌付不良なる前報告と同じくそれより沖合百浬内外まで十八度より十九度半の冷水帶ありて百二十浬内外に至れば二十度半より二十一度の水帶あり魚群相當多きも餌付不良なり本船はこの海區にたいて七百尾釣獲す尚距岸二百浬水溫二十三度より二十一度の混交水帶に魚群多く六日午後六時二十分より釣り初め七時までの間に約三千餘尾を釣獲し日沒のため中止し歸途に就いた目下の漁場としては距岸二百浬内外と

鮫川の鮎釣
催る十四日に
田町青年が

平町田町青年團では來る十四日鮫川の鮎漁清遊會を催す事となつたが會員は會費一圓會員外は一圓五十錢同日午前六時五十九分平驛發列車で植田に下車一日の大清遊會を催す事となつた

社告

營業部員　一名

廿歳以上卅五歳以下の活動家を至急募集す

本人履歷書持參午前中來談あれ

磐城新聞社

乘合自動車粉碎
丈余の崖下に墜落
乘客一名運轉手も
瀕死の重傷を負ふ
江名昨夜の椿事

江名町大字上神代自動車營業人馬目喜右エ門（三六）は昨九日午後九時運轉手が不在中無免許で乘合自動車を運轉江名町高野清（四〇）を乘せて中の作から江名に向ふ途中地方でも難所の第一指に屆せられる江名街道驅足地先に差かかつた際俄然運轉を誤まつて丈餘の崖下に墜落自動車の車體は扮碎し馬目は全身に瀕死の重傷乘合客高野は肋骨々折の重傷を負つたのを程經て通行人が發見目下治療を加へてゐるが高野は生命危篤馬目は全治約三週間を要する重傷である

今月の
野菜相場
青梅は
上物十五錢

平町に於ける今九日の野菜相場は◆青梅一升上十五錢中十二錢◆大根五本一把上十錢下五錢◆玉ネギ一貫匁上三十五錢中三十錢◆馬鈴薯一貫匁文二十五錢中二十錢小十五錢◆胡瓜一本大二錢中一錢五厘下一錢◆なたまめ一貫匁上五十錢中四十錢下三十錢◆玉菜一貫匁上十五錢中十三錢下十錢◆南瓜一貫匁上八十錢中六十錢下四十五錢◆牛ばう一貫匁上五十錢中四十五錢下三十五錢　以上

磐城各濱に於ける
第一期重要漁況
前年より漁獲二萬六千貫增
金高は減る

磐城各濱における本年一月から四月までの第一期主要漁況（鮫、比良目、鯛、鰈）は九日商工水産課の取纏めによると三郡合計數量百五十四萬六千四百八十二貫この價格六十八萬五千三百八圓で前年同期に比し數量に於ては二萬六千八百四十一貫を增加したが豐漁と單價安の爲金額は却て一萬五百六十五圓の減少であつた郡別に見れば次の如くである

	數量	金額
石城	一、三七七、〇九六	五六三、一五三
双葉	九三、九八三	七七、六六四
相馬	七五、四〇三	四四、四九一

◆よし子　お前何處へ行くんだイ、眼醫者だッ　ソレハいけないネ歯の方はどうだい、ナニよつぽどいいんだつて眼もいたまないか段々よくなる、ソウかあれは始めは痛イもんだが段々よくなるつてからなお前も近頃はよくなつたらう◆ひさご姐さんが見えませんがどうしたんでせうツてお前あれを知らないのかい何んでもスッパイ物が喰べたくなつたんだとよ、多分お芋の食傷だらう、青梅でも喰つたらよかろうつて！飛んでもねい青梅なんか喰つたら流れちまア◆まだ分らないのかい見るものが見ねないんだと……アー分ッたた腹と眼が惡るいんでせうツて呆れたもんだハライタとハランダを間違へて居がる

スター好　中形　粋な　手中　着尺モスリン　本場カヤ

平　龜田屋　電五七

文藝原稿募集

△創作、戯曲、詩、和歌、俳句其の他文藝作品を募集す

規定　十二字詰三百行以內

磐城新聞社

診療開始

外科
花柳病科　專門　木村外科醫院

平町六丁目橋際（元〇久材木店跡）　電話三〇九番

入院自炊ノ便アリ

土木
建築　請負　強口唯七郎

平町郊外關ノ上　電話四〇一番

砂利、砂は御用命あり次第多少に不拘迅速に御屆けいたします